

彦根市公園法にかゝる基準の検証

項目	値	備考
公園面積 (ha)	14.0	
緑地面積 (ha)	2.4	
緑地面積率 (%)	17.1	>12% OUT
運動施設面積 (ha)	0.2	
運動施設面積率 (%)	58.6	>50% OUT

公園ごとの面積概要

施設名	建築面積 (ha)	運動施設面積 (ha)
陸上競技場 新1種	1.9	4.0
補助競技場	-	1.7
野球場	0.5	2.5
合計	2.4	8.2

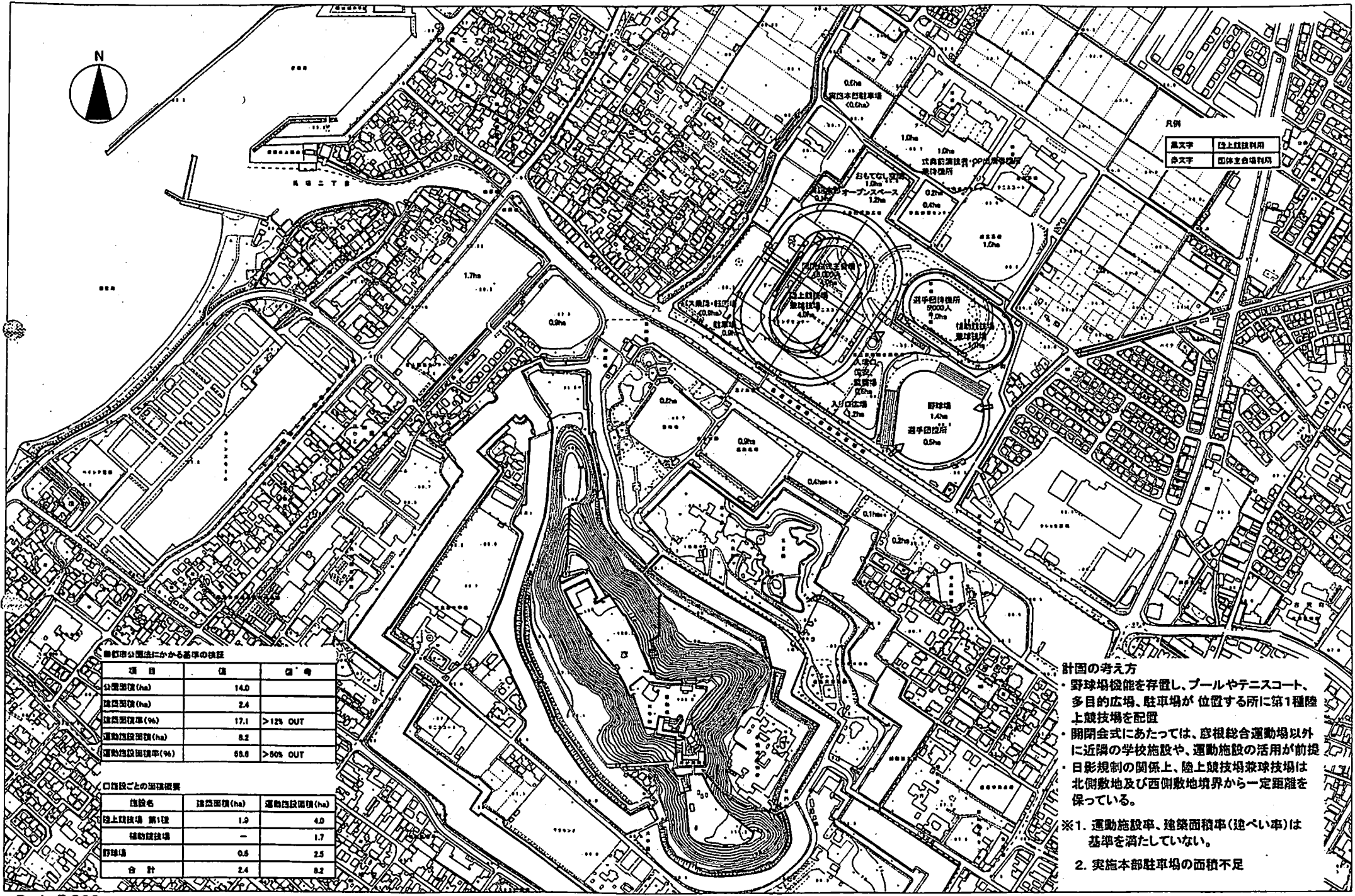
計画の考え方

- ・野球場機能を存置し、プールやテニスコート、多目的広場、駐車場が位置する所に第1種陸上競技場を配置
- ・開閉式にあたっては、彦根総合運動場以外に近隣の学校施設や、運動施設の活用が前提
- ・日影規制の関係上、陸上競技場兼野球技場は北側敷地及び西側敷地境界から一定距離を保っている。

※1. 運動施設率、建築面積率(建ぺい率)は基準を満たしていない。



彦根総合運動場 国体主会場 施設配置計画(A案)



凡例

黒文字	陸上競技利用
赤文字	国体主会場利用

彦根市公団法にかゝる基準の検証

項目	値	備考
公園面積 (ha)	14.0	
緑地面積 (ha)	2.4	
緑地面積率 (%)	17.1	> 12% OUT
運動施設面積 (ha)	8.2	
運動施設面積率 (%)	68.6	> 50% OUT

口施設ごとの面積概要

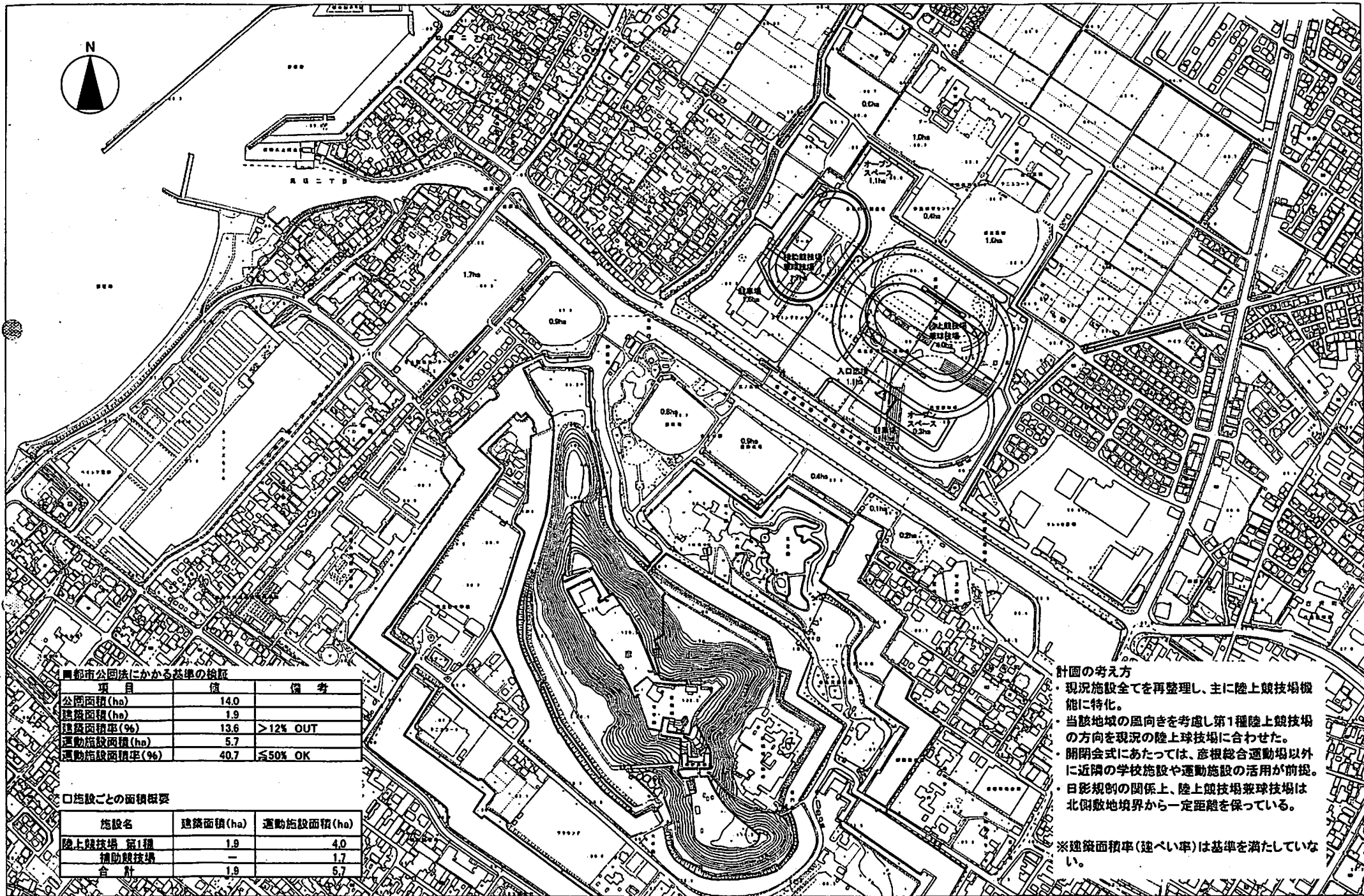
施設名	建築面積 (ha)	運動施設面積 (ha)
陸上競技場 第1種	1.9	4.0
補助競技場	-	1.7
野球場	0.5	2.5
合計	2.4	8.2

- 計画の考え方
- 野球場機能を存置し、プールやテニスコート、多目的広場、駐車場が位置する所に第1種陸上競技場を配置
  - 開閉会式にあたっては、彦根総合運動場以外に近隣の学校施設や、運動施設の活用が前提
  - 日影規制の関係上、陸上競技場兼球技場は北側敷地及び西側敷地境界から一定距離を保持している。
- ※1. 運動施設率、建築面積率(建ぺい率)は基準を満たしていない。  
 2. 実施本部駐車場の面積不足



彦根総合運動場 国体主会場 施設配置計画(A案)

本図は彦根市公団法にかゝる基準の検証を目的として作成されたものであり、各施設の位置や規模についてはあくまでも案上のものです。



■都市公団法にかかる基準の検証

項目	値	備考
公園面積 (ha)	14.0	
建築面積 (ha)	1.9	
建築面積率 (%)	13.6	>12% OUT
運動施設面積 (ha)	5.7	
運動施設面積率 (%)	40.7	≦50% OK

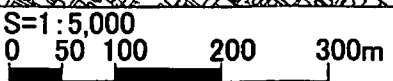
□施設ごとの面積概要

施設名	建築面積 (ha)	運動施設面積 (ha)
陸上競技場 第1種	1.9	4.0
補助競技場	-	1.7
合計	1.9	5.7

計画の考え方

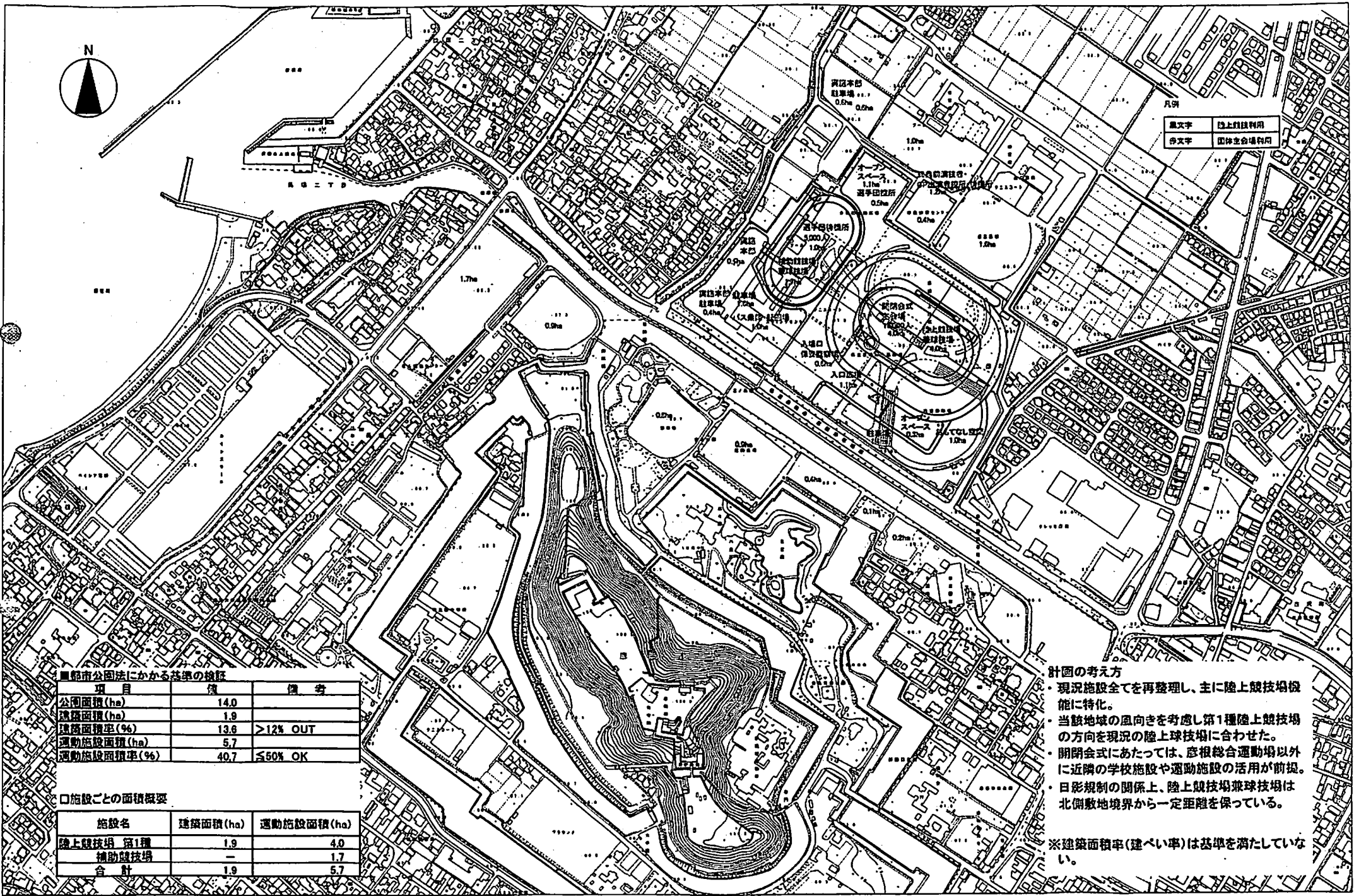
- ・ 現況施設全てを再整理し、主に陸上競技場機能に特化。
- ・ 当該地域の風向きを考慮し第1種陸上競技場の方向を現況の陸上球技場に合わせた。
- ・ 開閉会式にあたっては、彦根総合運動場以外に近隣の学校施設や運動施設の活用が前提。
- ・ 日影規制の関係上、陸上競技場兼球技場は北側敷地境界から一定距離を保っている。

※建築面積率(建ぺい率)は基準を満たしていない。



彦根総合運動場 国体主会場 施設配置計画(B案)





彦根市公園法にかかる基準の検証

項目	値	備考
公園面積 (ha)	14.0	
建築面積 (ha)	1.9	
建築面積率 (%)	13.6	>12% OUT
運動施設面積 (ha)	5.7	
運動施設面積率 (%)	40.7	≦50% OK

□施設ごとの面積概要

施設名	建築面積 (ha)	運動施設面積 (ha)
陸上競技場 第1種	1.9	4.0
補助競技場	-	1.7
合計	1.9	5.7

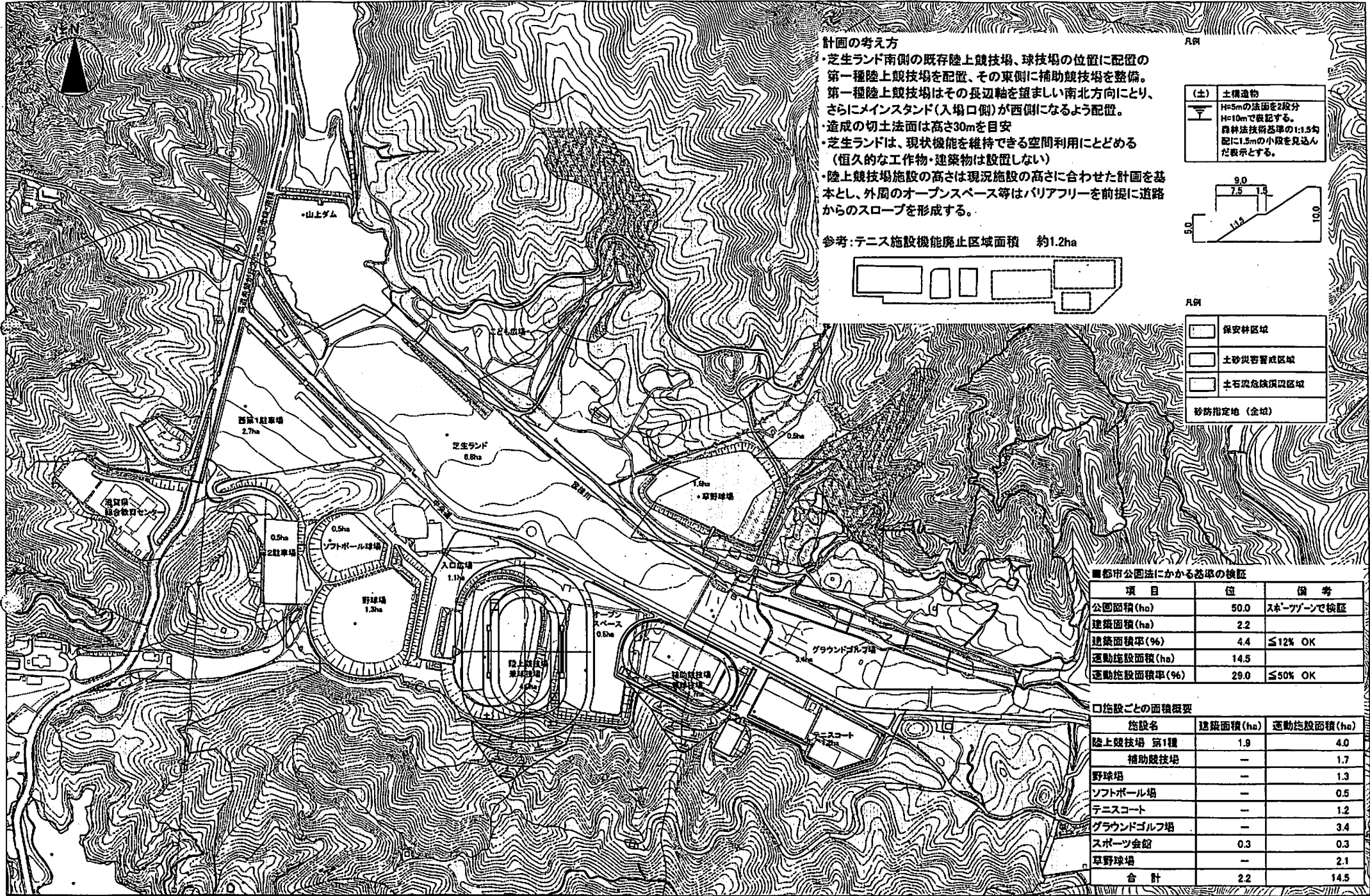
計画の考え方

- ・現況施設全てを再整理し、主に陸上競技場機能に特化。
- ・当該地域の風向きを考慮し第1種陸上競技場の方向を現況の陸上球技場に合わせた。
- ・開閉会式にあたっては、彦根総合運動場以外に近隣の学校施設や運動施設の活用が前提。
- ・日影規制の関係上、陸上競技場兼球技場は北側敷地境界から一定距離を保っている。

※建築面積率(建ぺい率)は基準を満たしていない。



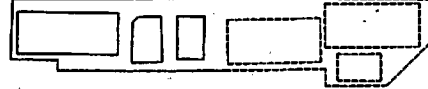
彦根総合運動場 国体主会場 施設配置計画 (B案)



計画の考え方

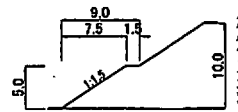
- 芝生ランド南側の既存陸上競技場、球技場の位置に配置の第一種陸上競技場を配置、その東側に補助競技場を整備。第一種陸上競技場はその長辺軸を望ましい南北方向にとり、さらにメインスタンド(入場口側)が西側になるよう配置。
- 造成の切土法面は高さ30mを目安
- 芝生ランドは、現状機能を維持できる空間利用にとどめる(恒久的な工作物・建築物は設置しない)
- 陸上競技場施設の高さは現況施設の高さに合わせた計画を基本とし、外周のオープンスペース等はバリアフリーを前提に道路からのスロープを形成する。

参考:テニス施設機能廃止区域面積 約1.2ha



凡例

(土)	土積造物
▽	H=5mの法面を2段分 H=10mで表記する。 森林法技術基準の1:1.5勾配に1.5mの小段を見込んで表示とする。



凡例

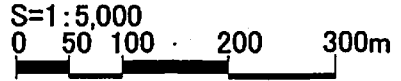
□	保安林区域
□	土砂災害警戒区域
□	土石流危険渓流区域
□	砂防指定地(全域)

■都市公園法にかかる基準の検証

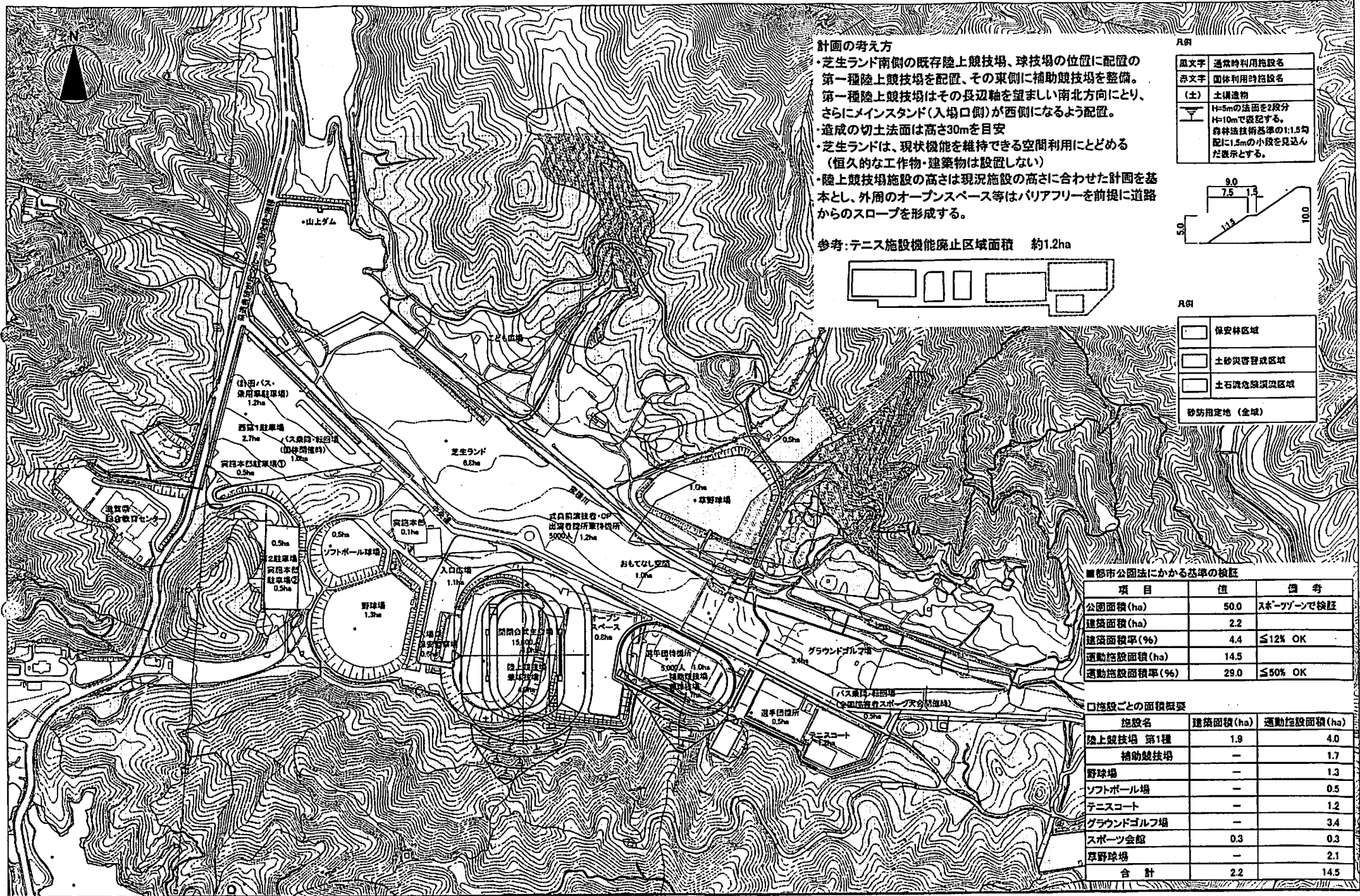
項目	値	備考
公園面積(ha)	50.0	スポーツゾーンで検証
建築面積(ha)	2.2	
建築面積率(%)	4.4	≤12% OK
運動施設面積(ha)	14.5	
運動施設面積率(%)	29.0	≤50% OK

□施設ごとの面積概要

施設名	建築面積(ha)	運動施設面積(ha)
陸上競技場 第1種	1.9	4.0
補助競技場	-	1.7
野球場	-	1.3
ソフトボール場	-	0.5
テニスコート	-	1.2
グラウンドゴルフ場	-	3.4
スポーツ会館	0.3	0.3
草野球場	-	2.1
合計	2.2	14.5



(A3)



計画の考え方

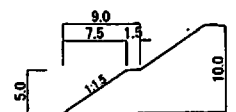
- 芝生ランド南側の既存陸上競技場、球技場の位置に配置の第一種陸上競技場を配置、その東側に補助競技場を整備。
- 第一種陸上競技場はその長辺軸を望ましい南北方向にとり、さらにメインスタンド(入場口側)が西側になるよう配置。
- 造成の切土法面は高さ30mを目安
- 芝生ランドは、現状機能を維持できる空間利用にとどめる(恒久的な工作物・建築物は設置しない)
- 陸上競技場施設の高さは現況施設の高さに合わせた計画を基本とし、外周のオープンスペース等はバリアフリーを前提に道路からのスロープを形成する。

参考: テニス施設機能廃止区域面積 約1.2ha



凡例

風文字	通常時利用施設名
赤文字	国体利用時施設名
(土)	土壌遺物
▽	H=5mの法面を2段分H=10mで仮設する。森林法技術基準の1:1.5勾配に1.5mの小段を見込んで表示とする。



凡例

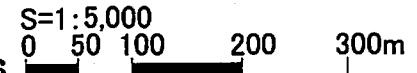
□	保安林区域
□	土砂災害警戒区域
□	土石流危険渓流区域
□	砂防指定地(全域)

■都市公園法にかかる基準の検証

項目	値	備考
公園面積(ha)	50.0	スポーツゾーンで検証
建築面積(ha)	2.2	
建築面積率(%)	4.4	≦12% OK
運動施設面積(ha)	14.5	
運動施設面積率(%)	29.0	≦50% OK

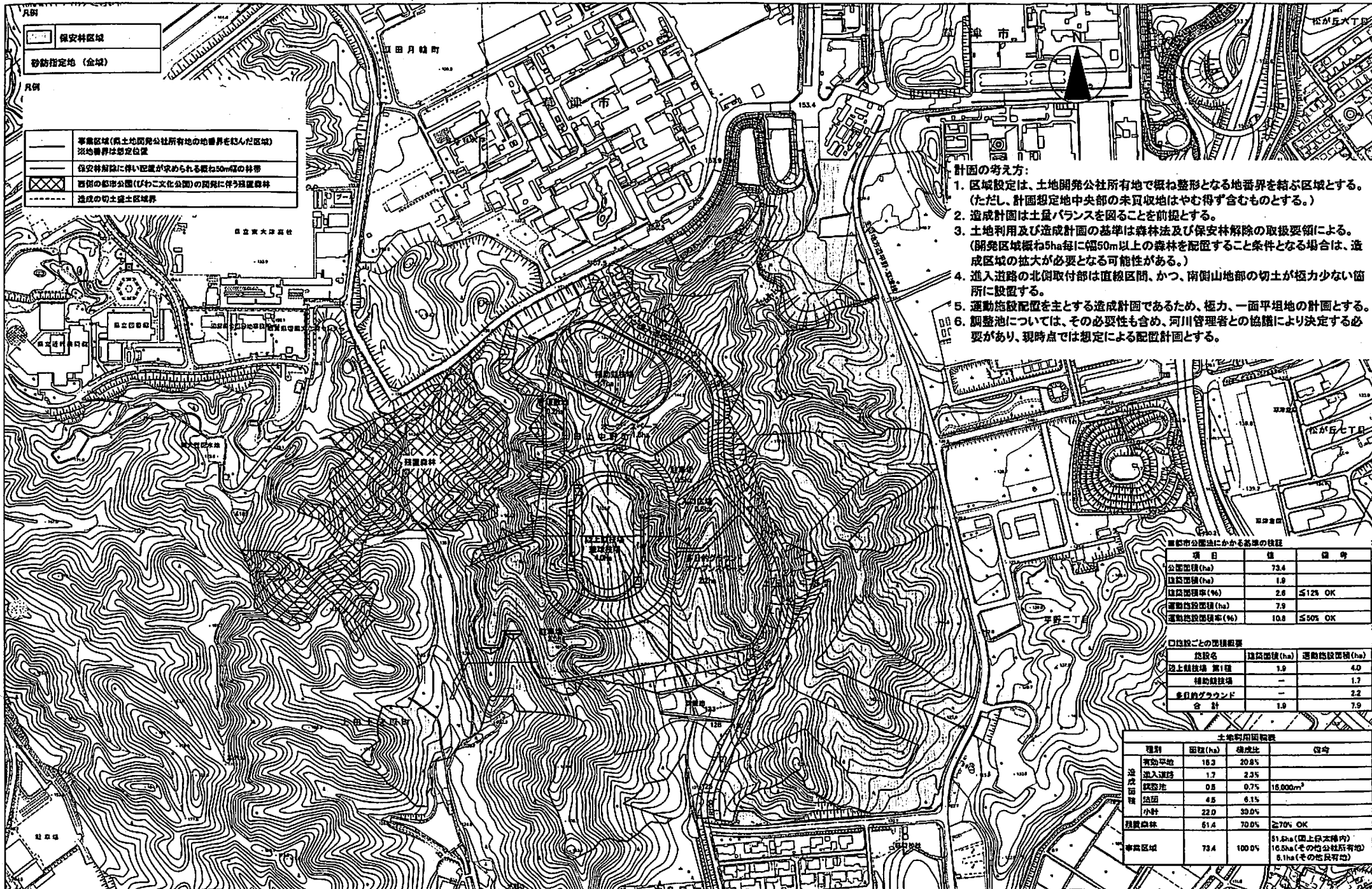
□施設ごとの面積概要

施設名	建築面積(ha)	運動施設面積(ha)
陸上競技場 第1種	1.9	4.0
補助競技場	-	1.7
野球場	-	1.3
ソフトボール場	-	0.5
テニスコート	-	1.2
グラウンドゴルフ場	-	3.4
スポーツ会館	0.3	0.3
厚野球場	-	2.1
合計	2.2	14.5



希望ヶ丘文化公園 国体主会場 施設配置計画(案)





計画の考え方:

1. 区域設定は、土地開発公社所有地で概ね整形となる地番界を結ぶ区域とする。  
(ただし、計画想定地中央部の未買収地はやむを得ず含むものとする。)
2. 造成計画は土量バランスを図ることを前提とする。
3. 土地利用及び造成計画の基準は森林法及び保安林解除の取扱要領による。  
(開発区域概ね5ha毎に幅50m以上の森林を配置すること条件となる場合は、造成区域の拡大が必要となる可能性がある。)
4. 進入道路の北側取付部は直線区間、かつ、南側山地部の切土が極力少ない箇所に設置する。
5. 運動施設配置を主とする造成計画であるため、極力、一面平坦地の計画とする。
6. 調整池については、その必要性も含め、河川管理者との協議により決定する必要がある、現時点では想定による配置計画とする。

東京都公団法にかかるとの基礎的数値

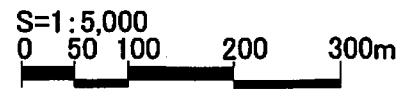
項目	値	備考
公園面積(ha)	73.4	
運動面積(ha)	1.9	
緑地面積率(%)	2.6	≧12% OK
運動施設面積(ha)	7.9	
運動施設面積率(%)	10.8	≧50% OK

口造成ごとの面積概要

施設名	造成面積(ha)	運動施設面積(ha)
地上緑地場 第1種	1.9	4.0
補助緑地場	-	1.7
多目的グラウンド	-	2.2
合計	1.9	7.9

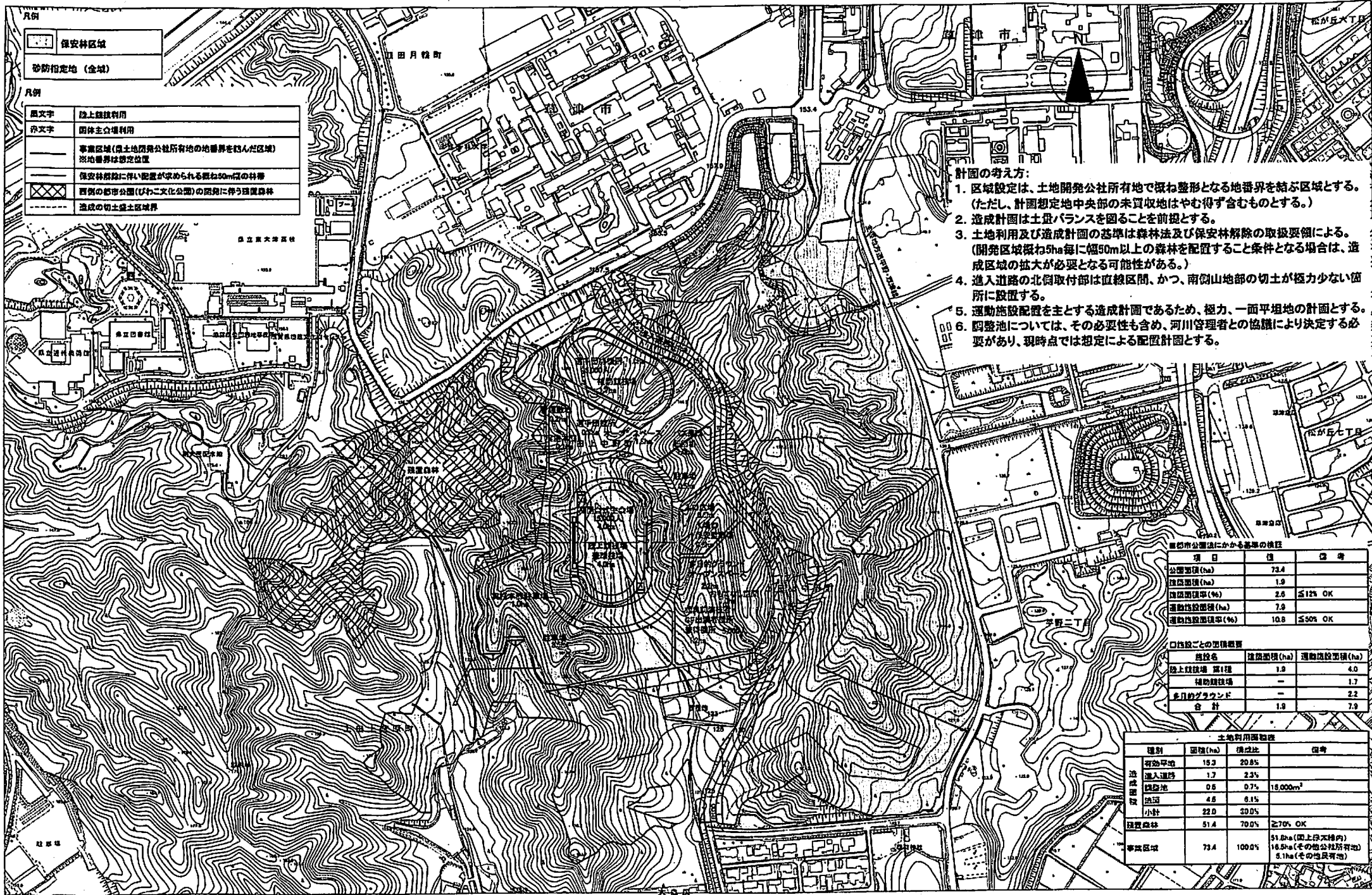
土地利用計画概要

種別	面積(ha)	割合比	備考
運動平地	16.3	20.9%	
進入道路	1.7	2.3%	
造成面積	0.5	0.7%	15,000m <sup>2</sup>
法面	4.5	6.1%	
小計	22.0	30.0%	
残存森林	51.4	70.0%	≧70% OK
事業区域	73.4	100.0%	51.5ha(国上京本構内) 16.5ha(その他公社所有地) 5.1ha(その他私有地)



(A3)

びわこ文化公園都市 国体主会場 施設配置計画(案)



凡例

	保安林区域
	砂防指定地 (全城)

凡例

黒文字	陸上競技利用
赤文字	団体主会場利用
	事業区域 (原土地開発公社所有地の地番界を越んだ区域) ※地番界は想定位置
	保安林解除に伴い配置が求められる概ね50m幅の林帯
	西側の都市公園 (びわこ文化公園) の開発に伴う緑地森林
	造成の切土盛土区域界

- 計画の考え方:
1. 区域設定は、土地開発公社所有地で概ね整形となる地番界を結ぶ区域とする。  
(ただし、計画想定地中央部の未買収地はやむを得ず含むものとする。)
  2. 造成計画は土量バランスを図ることを前提とする。
  3. 土地利用及び造成計画の基準は森林法及び保安林解除の取扱要領による。  
(開発区域概ね5ha毎に幅50m以上の森林を配置すること条件となる場合は、造成区域の拡大が必要となる可能性がある。)
  4. 進入道路の北側取付部は直線区間、かつ、南側山部部の切土が極力少ない箇所に設置する。
  5. 運動施設配置を主とする造成計画であるため、視力、一面平坦地の計画とする。
  6. 調整池については、その必要性も含め、河川管理者との協議により決定する必要があり、現時点では想定による配置計画とする。

都市公園法にかかるとの概算の積算

項目	値	備考
公園面積 (ha)	73.4	
緑地面積 (ha)	1.9	
緑地面積率 (%)	2.6	≧12% OK
運動施設面積 (ha)	7.9	
運動施設面積率 (%)	10.8	≧50% OK

口内緑ごとの面積積算

施設名	建築面積 (ha)	運動施設面積 (ha)
陸上競技場 第1種	1.9	4.0
補助競技場	-	1.7
多目的グラウンド	-	2.2
合計	1.9	7.9

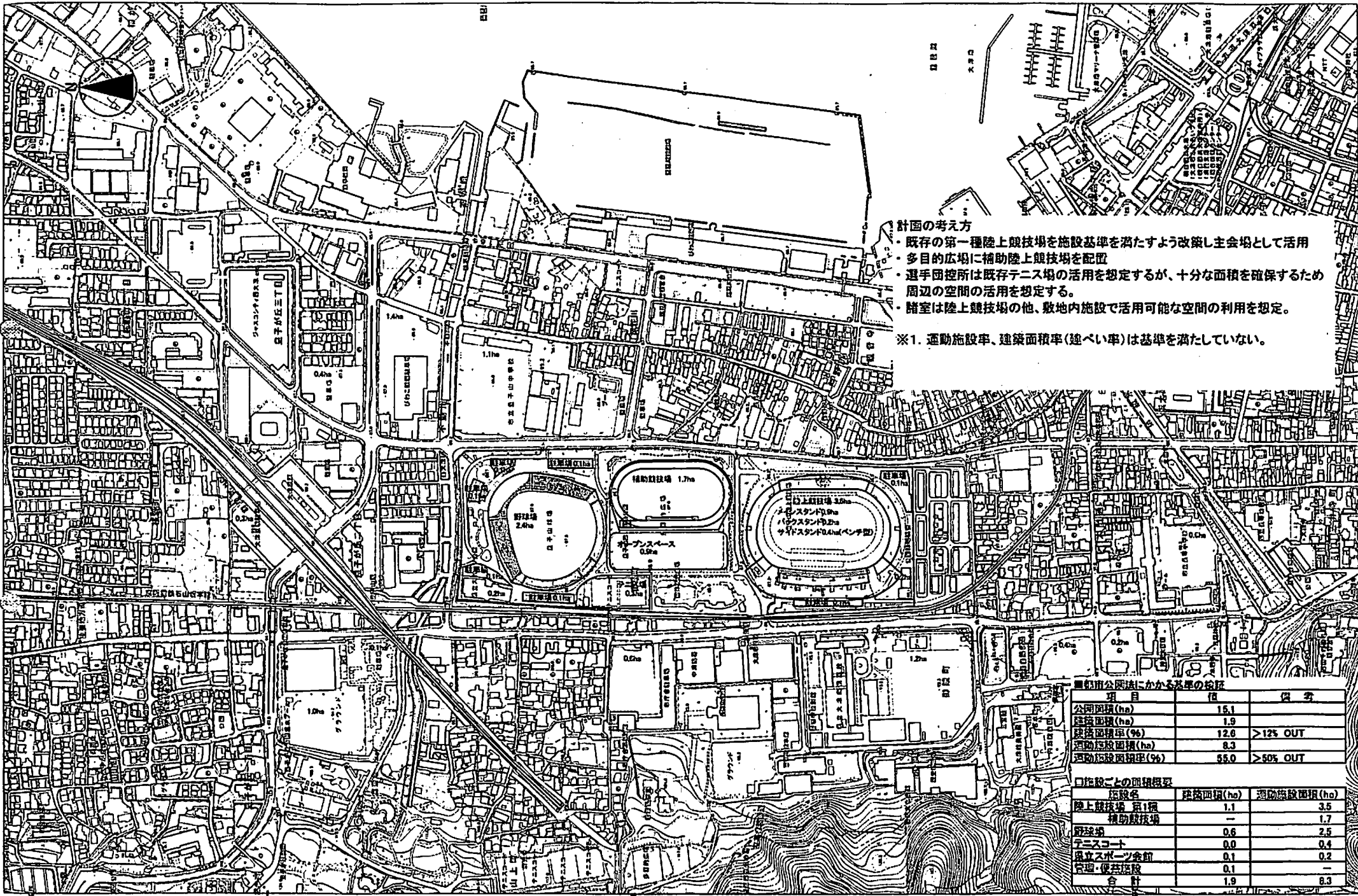
土地利用指標

種別	面積 (ha)	積算比	備考
有効平地	15.3	20.8%	
造成面	1.7	2.3%	
調整池	0.6	0.7%	15,000m <sup>3</sup>
緑地	4.6	6.1%	
小計	22.0	29.9%	
調整森林	51.4	70.0%	≧70% OK
事業区域	73.4	100.0%	51.8ha (同上緑地内) 18.6ha (その他開発用地) 3.1ha (その他保有地)

S=1:5,000  
0 50 100 200 300m

びわこ文化公園都市 国体主会場 施設配置計画 (案)





計画の考え方

- ・既存の第一種陸上競技場を施設基準を満たすよう改築し主会場として活用
- ・多目的広場に補助陸上競技場を配置
- ・選手団控所は既存テニスコートの活用を想定するが、十分な面積を確保するため周辺の空間の活用を想定する。
- ・陸上競技場の他、敷地内施設で活用可能な空間の利用を想定。

※1. 運動施設率、建築面積率(建ぺい率)は基準を満たしていない。

■皇山公園敷地にかかる基準の検証

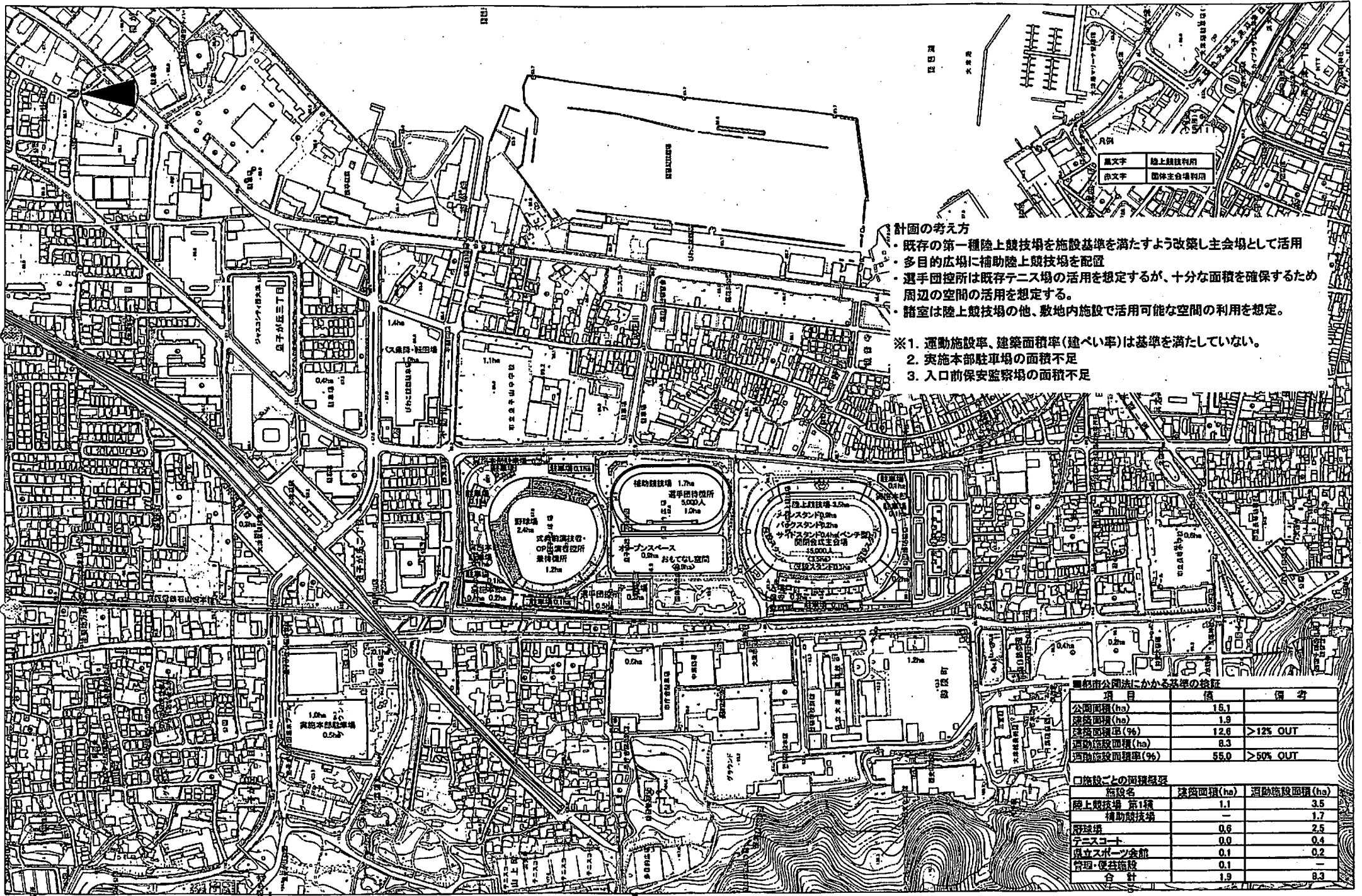
項目	値	備考
公園面積(ha)	15.1	
建築面積(ha)	1.9	
建築面積率(%)	12.6	>12% OUT
運動施設面積(ha)	8.3	
運動施設面積率(%)	55.0	>50% OUT

□施設ごとの面積概要

施設名	陸上競技(ha)	運動施設面積(ha)
陸上競技場 第1種	1.1	3.5
補助競技場	-	1.7
野球場	0.6	2.5
テニスコート	0.0	0.4
独立スポーツ会館	0.1	0.2
空遊・便所施設	0.1	-
合計	1.9	8.3

S=1:5,000  
0 50 100 200 300m (A3)

皇子山総合運動公園 国体主会場 施設配置計画(案)



計画の考え方

- 既存の第一種陸上競技場を施設基準を満たすよう改築し主会場として活用
- 多目的広場に補助陸上競技場を配置
- 選手団控所は既存テニスコートの活用を想定するが、十分な面積を確保するため周辺の空間の活用を想定する。
- 諸室は陸上競技場の他、敷地内施設で活用可能な空間の利用を想定。

- ※1. 運動施設率、建築面積率(建ぺい率)は基準を満たしていない。
- 2. 実施本部駐車場の面積不足
- 3. 入口前保安監察場の面積不足

皇朝市公園法にかかる基準の検証

項目	値	備考
公園面積(ha)	15.1	
運動面積(ha)	1.9	
運動面積率(%)	12.6	>12% OUT
運動施設面積(ha)	8.3	
運動施設面積率(%)	55.0	>50% OUT

□施設ごとの面積検証

施設名	建築面積(ha)	運動施設面積(ha)
陸上競技場 第1種	1.1	3.5
補助陸上競技場	—	1.7
野球場	0.6	2.5
テニスコート	0.0	0.4
県立スポーツ会館	0.1	0.2
管理・便益施設	0.1	—
合計	1.9	8.3

S=1:5,000  
0 50 100 200 300m  
10 (A3)

皇子山総合運動公園 国体主会場 施設配置計画(案)